

三木町

Kagawaken Miki-cho



Miki

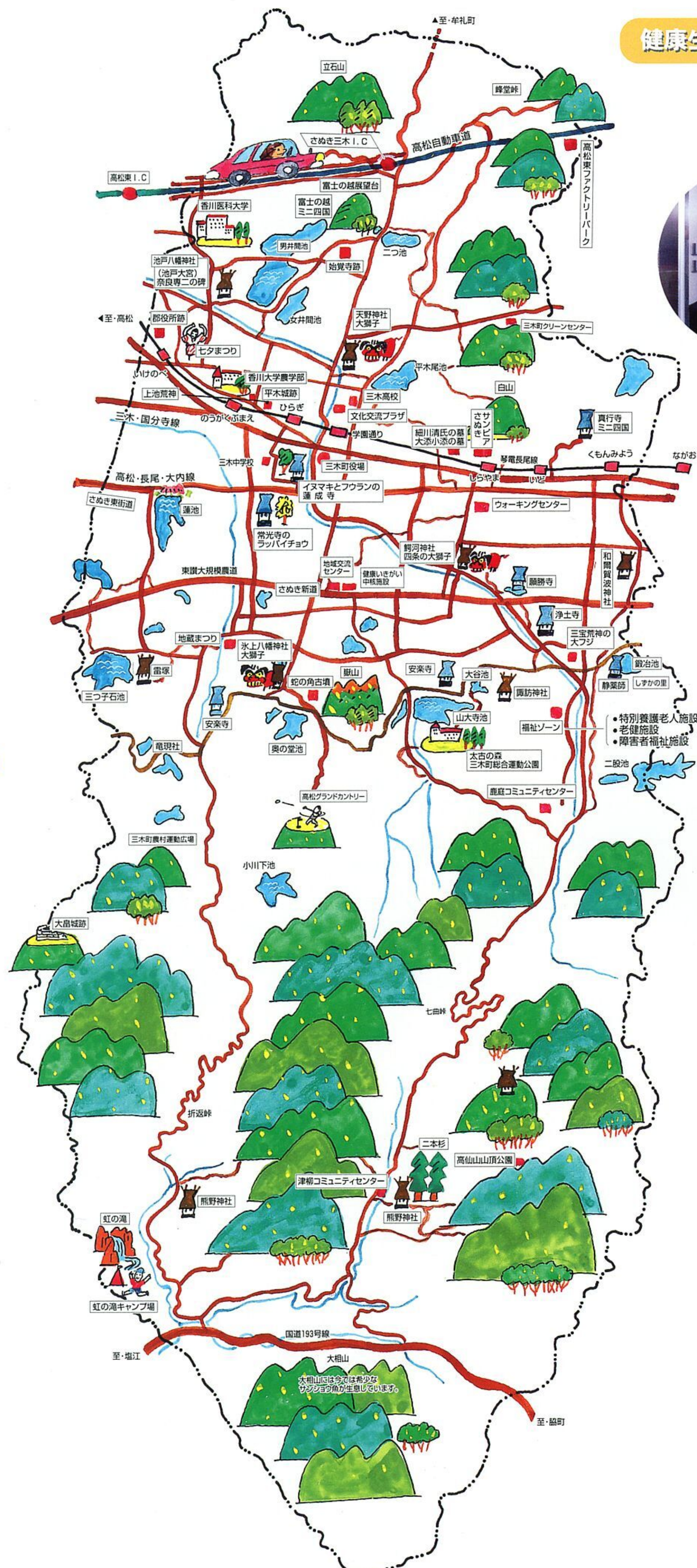


日があふれ、緑が栄える田園のまち

ここは心癒すところ、“日だまり”の町。優しい太陽に育まれた大地が息づくところ。
涼やかな風が緑の稲田を揺らし、実りの秋には赤いマンジュシャゲが黄金色の田を彩

二重、三重に連なる山並みのまろやかな稜線に見守られた町「三木町」。
る。ゆったりと流れる歳月がつくりあげた緑のまち、田園のまち「三木町」へようこそ。

Countryside town full of
sunshine and greens.
The land cultivated by
mild sunlight.



Main sightseeing spots and the model tours in Miki-cho.

健康生きがい中核施設



特別養護老人センター

福祉ゾーン

老人健康センター

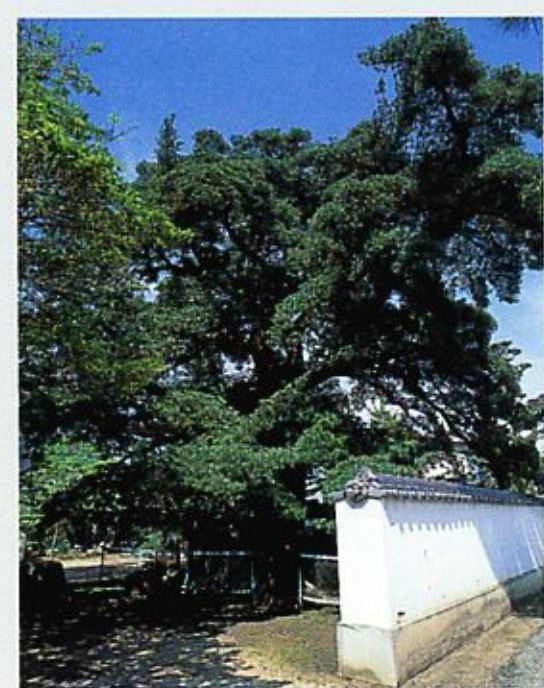
障害者センター



蓮成寺のイヌマキとフウラン

(県指定天然記念物)

三木中学近くの蓮成寺境内には高さ23メートルを超えるイヌマキの古木が大きく枝を広げています。伸びたイヌマキの枝には「フウラン」が密生しており、花の季節の6～7月には白雪を思わせる白い可憐な花が咲き、ラン特有の甘い香りを辺りに漂わせます。



イヌマキ



フウランの花

常光寺のラッパいちよう

(香川の保存木)



ラッパいちよう

2億年前の姿とどめる 樹齢600年のいちよう

常光寺の境内、本堂前の雄いちはうは高さ約20メートル、幹周りが1.8メートルの巨木。このいちようの葉の中に「生きた化石」と言われる珍しい筒状(ラッパの形)の葉が1割程混じっています。この葉は2億年前の形を受け継いだいちようの葉の原形で、これが現在の葉に進化したと考えられています。



Miki-cho walking

三木町観光のモデルコース



ウォーキングセンター

歩いて健康づくりを。ウォーキングセンターはその拠点。

街からほんの少し出るだけで周辺には豊かな自然が広がっています。恵まれた自然環境を利用した「自然観察」と「自然との触れ合い」を目的に、歩道(各コース)の整備が行われました。「ウォーキングセンター」はその拠点となる施設で建物内にはボランティアルーム、更衣室やシャワールームなども設置されています。

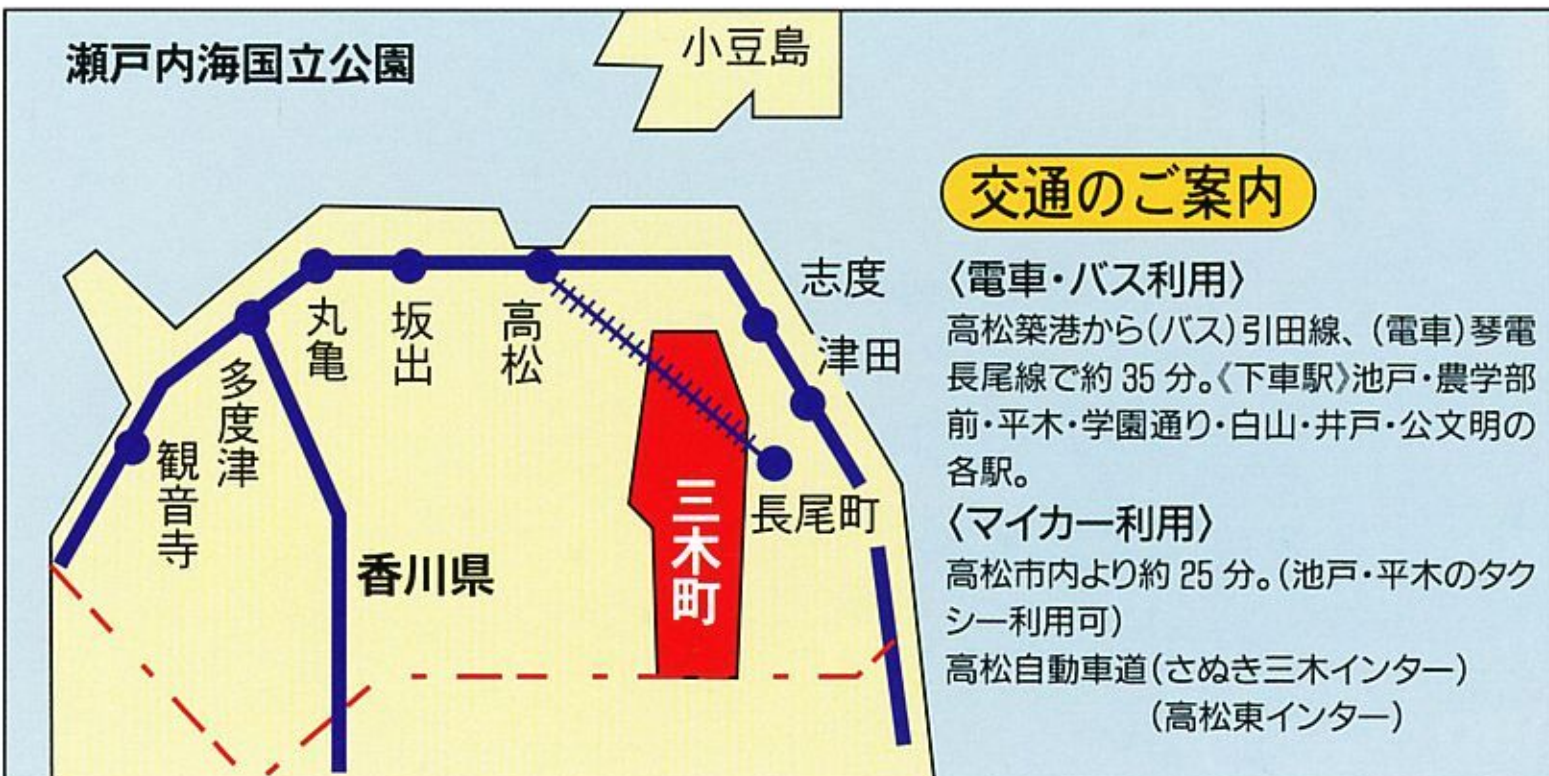


三木町の主な見どころと所要時間

- 虹の滝……琴池戸・平木・学園通り駅から車で30分 ●二本杉……学園通り駅から車で30分。
- イヌマキとフウランの蓮成寺……学園通り駅から徒歩10分。
- 常光寺ラッパイチョウ……学園通り駅から徒歩15分。
- 山寺池……学園通り駅から車で10分 ●白山……白山駅から徒歩5分。
- 三つ子石池……池戸駅から車で15分。
- 静薬師……学園通り駅から車で15分。 ●富士の越……学園通り駅から車で5分。
- 諏訪神社(四国のみち)……学園通り駅から車で15分。
- 鰐河神社(四条の大獅子)……白山駅から徒歩5分。
- 氷上八幡神社……三木町役場から車で10分。
- 和爾賀波神社……学園通り駅から車で10分 ●香川医科大学……池戸駅から車で5分。
- 香川大学農学部……農学部前駅から徒歩2分。
- 文化交流プラザ……学園通り駅から徒歩3分。

モデルコースご案内 ●数字はkm

- 南部コース 琴池戸・平木・学園通り駅→12.0→折返峠→2.0→虹の滝→4.5→二本杉→2.5→七曲峠→11.0→池戸・平木・学園通り駅。
- 北部コース 琴池戸・平木・学園通り駅→0.7→農学部→1.5→池戸八幡神社(奈良尊二の碑)→0.2→医科大学→0.6→男井間池→1.0→富士の越→2.0→二つ池→2.5→平木尾池→2.0→白山→1.5→真行寺→3.2→平木駅・学園通り駅。
- 中部コース 琴池戸・平木・学園通り駅→1.0→蓮成寺→1.2→蓮池→2.0→雷塚→0.1→三つ子石池→3.7→鰐河神社→1.3→和爾賀波神社→4.5→平木駅・学園通り駅。
- 四国のみちコース 琴池戸・平木・学園通り駅→1.0→竜現社→1.0→安楽寺→1.0→奥の堂池→0.5→蛇の角古墳→1.5→山寺池→0.5→大谷池→0.5→諏訪神社→1.5→静薬師・鍛冶池。



観光お問い合わせ先 三木町観光協会事務局:TEL.087-891-3308
(三木町役場経済課観光係)



白山神社

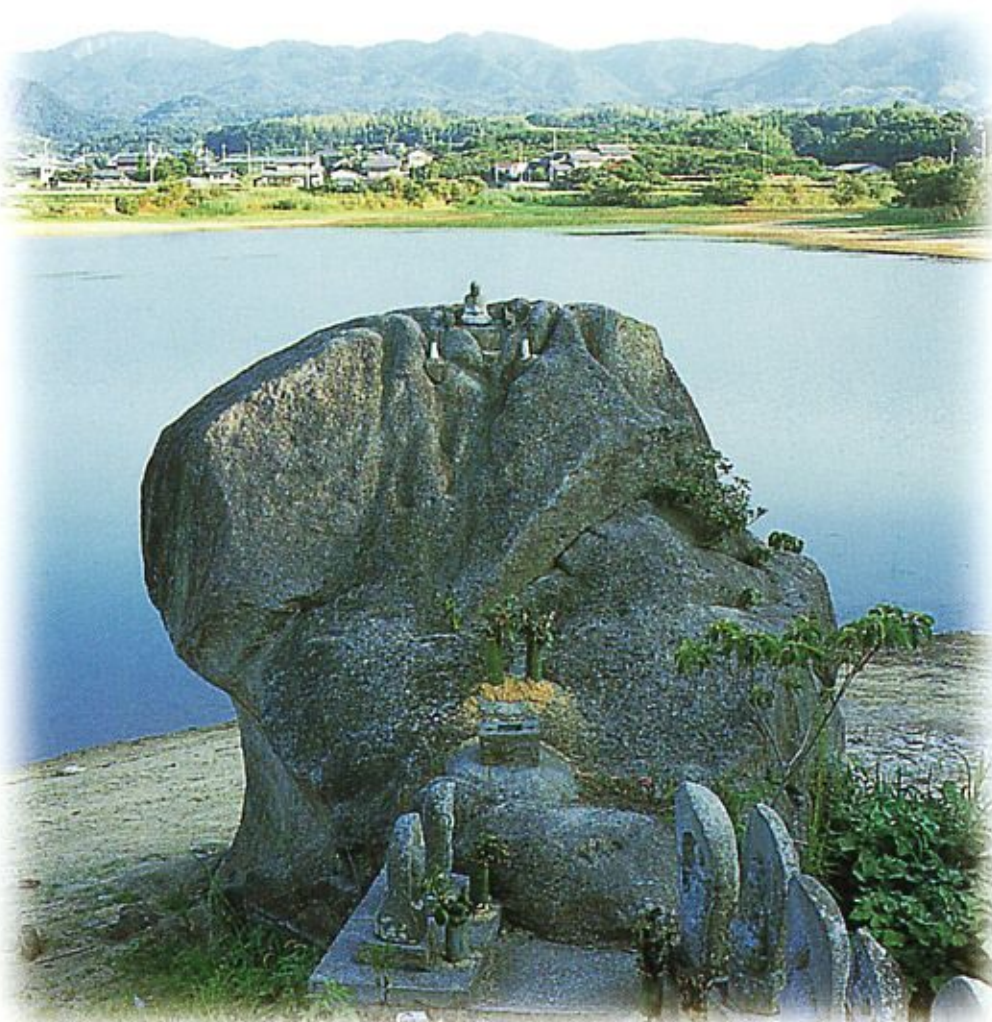


鍛冶池の桜

【熊野神社の二本杉】

県指定文化財・自然記念物・保存木

熊野神社の境内にすくくと立った2本の大杉。
神社の社殿前に並んでそびえる2本の大杉は、いずれも樹齢800年の巨木。大きい方の幹周りは約9メートル。小さい方でも6.5メートルはあります。その上、2本揃って仲良く並ぶ大杉はとても珍しく、県の天然記念物に指定され、「津柳の2本杉」と呼ばれて親しまれていました。またこの地は、寒川氏と十河氏の古戦場跡として知られている歴史の里でもあります。



三つ子石池

【三つ子石池】

池畔には「三つ子石池伝説」の大石が。

昔むかし、まますいじめをする継母がいたそうです。その母がある日、三歳の幼子に大きな石を背負って歩けと言いました。無理難題をふっかけたはずの継母でしたが、幼子は大石に縄をかけて軽々と背負い、池まで運んでしまいました。それを見た母親は、「熊野権現のご加護」だと大いに驚き、以来すっかり改心したそうです。「三つ子石池」には、大きな石とそんな伝説が語りつがれていますが、大石には幼子が背負ったときの縄跡がはっきりと残っているので、この話し、まんざら嘘ではないかもしれません。

Mitsugoishi Pond

Along on the bank of Mitsugoishi Pond stands a legendary giant stone. According to the legend, a mean stepmother deliberately ordered her three-year-old son to carry the giant stone to this pond. Since he succeeded, she believed it as the saving grace of God and reformed herself. The rope traces on the stone show that this may be a true story.

Two Japanese cedars at Kumano Shrine

Two gigantic cedars rise at the precinct of Kumano Shrine. Aging 800 years-old with circumferences of 9 meters and 6.5 meters, these cedars are designated as a natural monument of the prefecture. Also, this place is famous for a historic battlefield.



熊野神社の二本杉

●里の池めぐりのみち(1日コース/L≒13.5km 短絡コース/L≒7.2km)

里の景観を楽しみながら山裾をめぐるコース。道沿いには雨の少ない香川県ならではのため池が点在し、小川が流れ、里山らしいのどかさが漂います。

長い歴史のあるため池には、ヨシ・マコモ・ウキヤガラ・ガマ等の抽水植物や、ヒシ等の浮葉植物を始め、クロモ・エビモ・シヤジクモ等の沈水植物が自生し、水面をトンボが飛び交います。また、水際ではコチドリ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・タシギ等の鳥類が観察できます。

毎年、池を空にする秋には水を抜いた池底に小魚を追ってコサギ・ハシブトガラス・ハシボソガラス等が集まり、季節風の吹く冬になると、瀬戸内海の荒海を避けたヒドリガモ・モンゴルハジロ・コガモ・マガモ・オナガガモ等の姿が見られます。

●東讃富士・白山探索のみち(半日コース/L≒3.0km)

白山の山麓から山頂に続くコース。山道の途中では植生や地質の変化が観察でき、眼下に広がる水田の風景が楽しめます。

山裾にはハイノキの大木が繁り、中腹には県下でも有数の広さを見せるアベマキ林が広がり、山頂の岩場にはウバメガシが多く見られます。また展望の開けた山頂からは山並みを連ねる讃岐山脈や、その前に広がる讃岐平野を望むことができます。

●歴史の散歩みち(1日コース/L≒12.1km 短絡コース/L≒8.0km)

この道は讃岐の国の歴史を訪ねる散策コース。ゆったりとした景色を眺めながら、古墳時代の古墳跡から出土した土器を始め、弥生時代の遺跡から発掘された銅鐸や石剣を観察し、律令時代の条理制の池割跡を巡ります。平安時代に五穀豊穡を祈願して建てられた神社や、源平合戦にまつわる旧跡、鎌倉時代の荘園跡等、歴史の変遷を知ることができます。ちなみに、「三木」の町名は律令時代の三木郡から引き継がれたものです。

●ホタルの里のみち(1日コース/L≒14.3km 短絡コース/L≒10.4km)

讃岐山脈の山裾からホタルが生息する水系沿いに歩く田園のコース。水田や畑の中を縫うように巡る小川には、魚や昆虫、植物等が生息しており、香川の里の自然を知ることができます。初夏の夜にはホタルの群舞が見られる場所もあります。

●動物との出会いみち(1日コース/L≒8.6km)

野鳥の声を聞きながら、四季折々の自然の変化を満喫する山間のコース。東に香東川が流れ、西には小蓼川がある自然豊かな場所で、タヌキ・ノウサギ・テン・コウベモグラ等が生息し、留鳥や渡り鳥が数多く見られ、林の中にはタワヤモリ等の爬虫類もいます。また溪谷にはカスミサンショウウオやシュレーゲルアオガエルが生息し、緑の森ではアゲハチョウやシロチョウ、チョウテングの類等、35種類ものチョウが美しい姿を見せてくれます。コース内には県指定の自然記念物、小蓼熊野神社社叢や虹の滝があります。

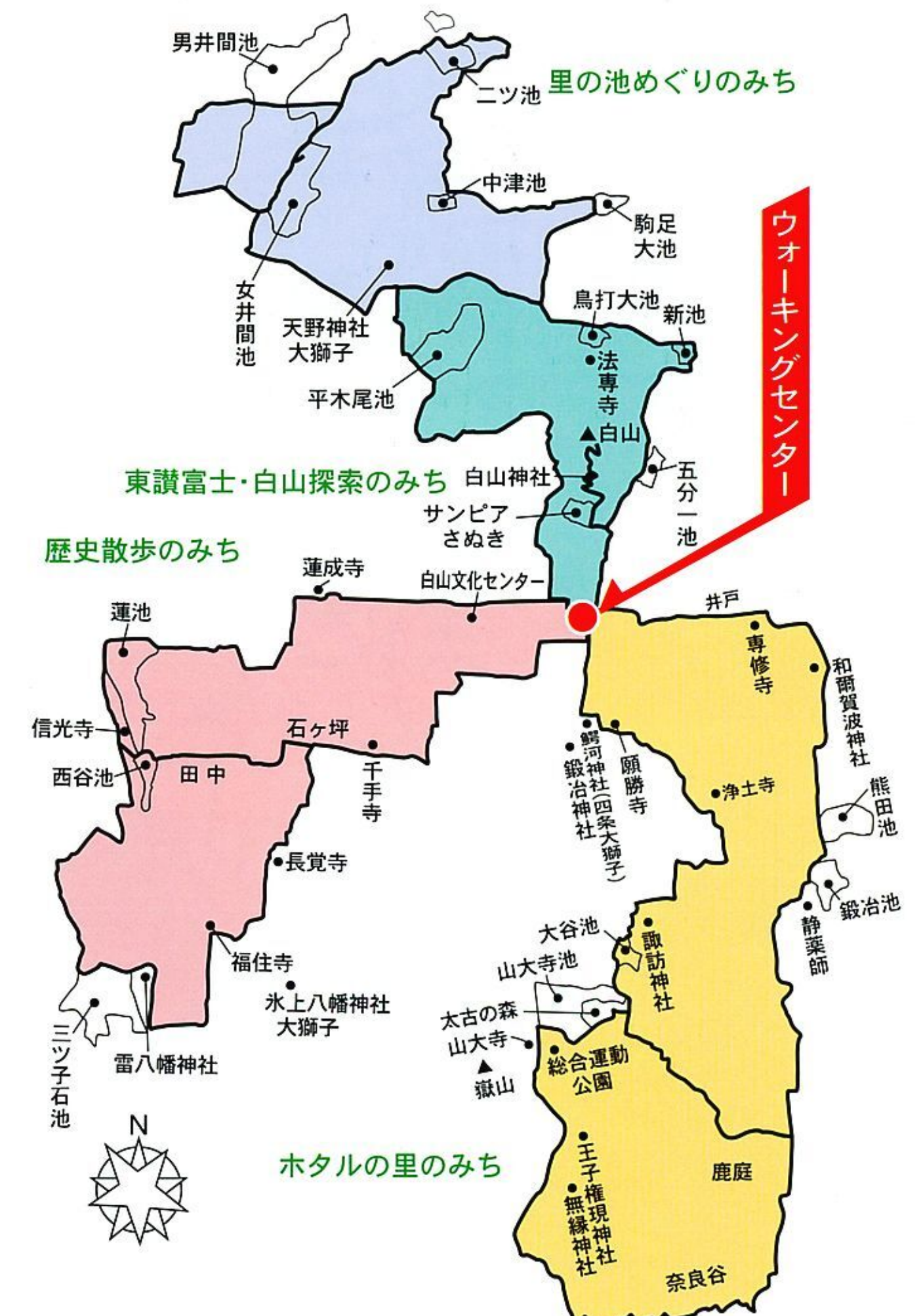
●高仙山深山のみち(1日コース/L≒7.5km)

高仙山山頂から遠く瀬戸内海を見渡すことができる景観を楽しむ緑のコース。山頂への道すがら、見下ろす里山の風景は四季の変化に富み、道沿いには四国山脈の極相林と言われるアカガシ林が見られます。とくに高仙神社社叢のアカガシ林は見事で、県の自然記念物に指定されています。

三木のふるさと

自然の道

太陽をいっぱい浴びて、緑の中で森林浴。
歩いて回る「自然の道」は、ウォーキング
センターを拠点に、自然に触れ、文化財
に親しめるように整備されたウォー
キングコースです。



動物との出会いのみち



交通の
ご案内

- ◆電車・バス利用者
バス／高松築港から引田線45分
下車バス停：白山
電車／高松築港から琴電長尾線30分
下車駅：白山、徒歩10分
◆マイカー利用者
高松市内より約25分
（平木駅よりタクシー利用可）
◆施設のご利用予約制です。TEL087-891-1789

メタセコイアの森 太古の森



浮棧橋

【メタセコイアの森 太古の森】

讃岐百景の一つ「山大寺池」のほとりにある森。

太古の森は、幻の巨木「メタセコイア」を発見した町出身の三木茂博士ゆかりの森。園内には天高く伸びたメタセコイアの林や、子どもたちが思わず駆け寄りそうな古代の恐竜たちが大きな夢とロマンを私たちに与えようと待っています。晴れた日のピクニックは水辺の丘でメタセコイアを見上げながら、遠い昔の恐竜と遊びましょうか。

Taiko no mori (ancient wood);metasequoias wood

Taiko no mori is a wood connected with Dr. Shigeru Miki of Miki-cho who discovered metasequoias. In this park, there is metasequoias wood and some miniatures of dinosaurs for kids to play with. Why don't you experience ancient times with dinosaurs on a sunny day?



【静御前の墓】

「静薬師庵」は桃色の桜で埋まる幻の歴史の里。

町の東に位置する井戸地区の鍛冶池のほとりに静御前の墓と言伝えられている五輪塔があり、その側には「静薬師庵」があります。兄頼朝に追われた義経と別れた静御前が母のふる里讃岐の地を訪ね、長尾寺で得度し、尼になりこの庵で生涯を終えたと言われています。

Tomb of Shizukagozen

On the bank of Kajiike Pond located in the Ikenobe region, the memorial pagoda rises as a tomb of Shizukagozen as well as Shizukayakushian(a priest house). She spent her life time here after separating with the warrior,Yoshitune.



【富士の越展望台】

山頂は信仰と憩いの場

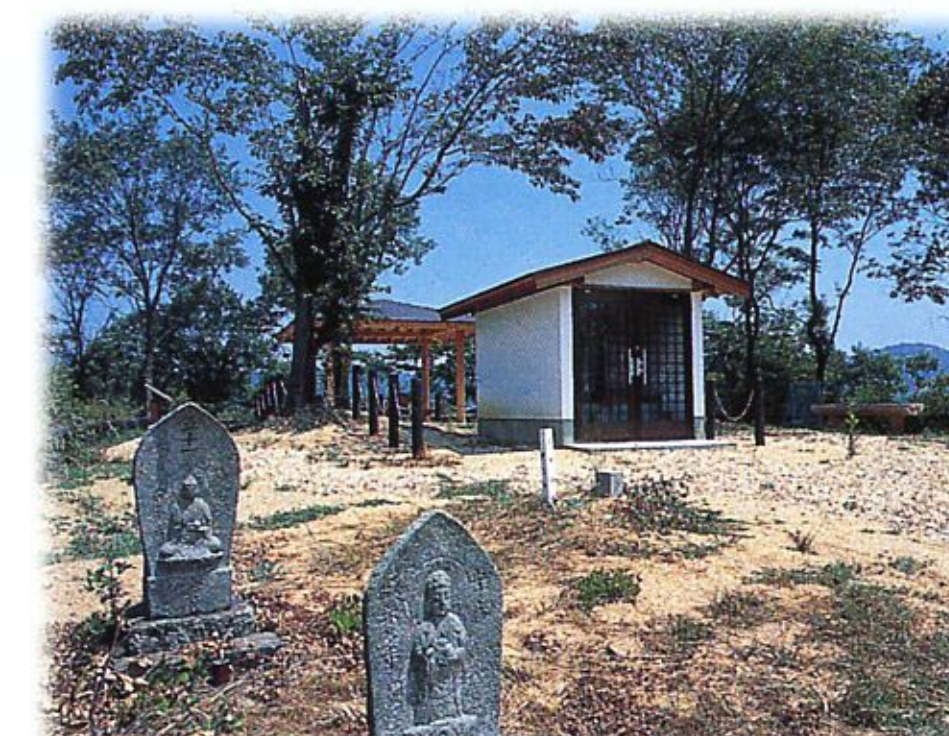
標高70メートルの小高い山の頂きは絶好の散歩コース。山頂には弘法大師ゆかりの「四国霊場ミニ二十八か所」があり、周囲の景色を楽しめる休憩所も設置。信仰と憩いの場として人気を集めています。

Fujinokoshi observatory

A small hill with the altitude of 70 meters makes it suitable for a stroll. On the mountaintop, there are 88 mini Shikoku pilgrims in connection with Kobo Daishi(a great teacher) and a rest area to enjoy the surrounding scenery.



始覚寺



富士の越展望台



【三木博士とメタセコイア】 (町記念樹)

メタセコイア（和名アケボノスギ）はスギ科の裸子植物で、成長すると35メートル程にもなる落葉高木。100万年前に恐竜と共に絶滅したとされていたこの植物に再び光をあてたのが三木町出身の理学博士三木茂氏。太古の化石植物から幻の巨木、セコイアの新種を発見。「メタセコイア」と名づけました。それから4年後の1946年（昭和20年）、中国四川省の奥地で生き残っていたメタセコイアが発見され、博士は世界初のメタセコイア発見者として称えられます。三木博士のふる里、神山地区の神山保育所近くには博士が植えた「メタセコイア」が今では天を突くほどの巨木に成長しています。

Dr. Miki & metasequoias, commemorative tree of the town

A metasequoia is a deciduous tree and gymnosperm belonging to the cedar family, which grow 35 meters high. A scientist, Dr. Miki(of Miki-cho), discovered a new kind of sequoia from the fossil plants and named it metasequoia. In 1946, he found surviving metasequoias in China for the first time. These days, you can see the huge metasequoias planted by Dr. Miki in the Kamiyama region.



光り弾み、花満ちる春。

若草が萌えだす春は希望の季節。
夢とロマンと文化のまち三木町には、
訪ねたい春の名所がある。

Mt.Kozen

Mt.Kozen has the charming scenery of Sanuki Mountain range, Sanuki Plain, Takamatsu City and the Seto Inland Sea. Maintained on top of the mountain are playgrounds, bungalows, training accommodation facilities, camping sites as well as the surrounding nature.



虹の滝・雄滝



虹の滝・雌滝

【高仙山】

山の頂きで思いっきり深呼吸。ここは遊びの宝庫。

後ろには讃岐山脈、目の前には讃岐平野と高松の街並み、そして瀬戸内の青い海が。高仙山の頂上には緑に囲まれた自然はもちろん、フィールド遊具やバンガロー、研修宿泊施設やキャンプサイトがあり、遊んで食べて、ときには学ぶ充実の公園が整備されています。夏の一日、子どもたちはこの山の公園でどんな遊びを見つけるのでしょうか。

高仙山



【虹の滝】

名の由来は七色の虹から。水量豊かな雄雌の滝。

「虹の滝」は塩江町と町境にあたる小蓑地区にある雄雌二つの滝。雄滝は別名カモシカの滝、雌滝は銚子の形に似ているところから銚子滝とも言われています。雄滝の高さは約11メートル、幅5メートル。雄滝は落差が約8メートルで幅は6メートル。規模はさほど大きくはありませんが水量が豊富で、日光に水煙りが映えて七色の虹が現われるところから「虹の滝」と名づけられたと言われています。水しぶきを上げて落ちる滝の美しさは格別で、讃岐百景にも選ばれていますが、なかでも初夏の緑と晩秋の紅葉は素晴らしく、ハイキングやキャンプのシーズンには大勢の人が訪れ、山菜とりや川魚釣りなどのアウトドアを楽しんでいます。虹の滝キャンプ場にはバンガローがあり、夏には家族連れで賑わいます。

Konotaki Waterfall

Located at the border of Shionoe-cho and the Komino region. Consists of two waterfalls; a male and a female. When sunlight glows in the spray of affluent water, beautiful rainbows appear. The name, Konotaki came from this. This waterfall is selected as one of "the 100 scenes of Sanuki". Equipped with bungalows, you can enjoy the red leaves in autumn and out door activities in summer.

燃える太陽に、 子らが弾ける夏。

夏の町は元気いっぱい。

涼しさ満喫のキャンプや川遊びに、嬉しい夏まつり。

子どもたちの遊びの場は街にも野山にも。



【いけのべ七夕まつり】(池戸商店街)

唄と踊りでさんざめく、七夕の夜。

“笹の葉さらさら”の歌に誘われ、商店街は人の波。池の戸「七夕まつり」は昭和27年に始まった伝統のまつり。毎年8月の第1土曜日と日曜日の二日間、500本を超える大きな笹竹には趣向を凝らした短冊やくす玉が吊るされ、華やかに夜の街を彩ります。「七夕まつり」に合わせて開かれる池戸西徳寺の「七夕茶会」は、県下の三大茶会の一つとして知られる有名茶会。イベントは七夕クィーンの発表や、歌謡ショー、おまつりには欠かせない露天市など、会場は夜遅くまで賑わいます。

Ikenobe Star Festival at Ikenobe shopping arcade

Ikenobe Star Festival is a traditional festival beginning in 1952. It's held on the first Saturday and Sunday of August setting up more than 500 bamboo branches adorned with elaborate strips of paper. They color the nights brilliantly. The festival holds several events including a tea ceremony at Saitokuji Temple, which is famous as one of the three biggest tea ceremonies in Kagawa Prefecture.



男井間池

香川医科大学

Autumn

【男井間池】

水不足に泣かされた讃岐の歴史を象徴する池。

「男井間池」は、300ヘクタールの水田を潤してきたため池。約250余りある町内のため池の中でも水との関いを刻んだ歴史を持つ池として特に有名で、西の満濃池に匹敵するほどの大工事が行われたと伝えられています。池は創築から約1200年を経ており、池のある池戸の地名も“池のあたり”の意味から名づけられたと言われています。近くには香川医科大学の白い建物があり、背景には小野ヶ原山の緑が広がります。

Oima-ike Reservoir

Oima-ike Reservoir has irrigated about 1.1square miles of rice field. This reservoir is the most historic and famous of 250 reservoirs in town. Its construction was as huge as Manno-ike Reservoir of the west of Kagawa prefecture. This pond was built around 1200 years ago. The name of Ikenobe, literally meaning "around a pond", came from this area.



三木町総合運動公園

【香川医科大学】

四国と瀬戸内海沿岸の医療の拠点。

町の北西部に連なる緑の丘陵地帯を背景に建つ白い建物が「香川医科大学と付属病院」です。昭和53年(1978)10月に開学された「香川医科大学」は、その後大学院や看護学科を設置。現在1,000名を越す学生や研究生が学んでいます。また、昭和58年(1983)10月には付属病院が開院。四国・瀬戸内海沿岸の医療拠点として発展が期待されています。

Kagawa Medical University

The white buildings against the background of green hilly terrain in the northwest part of Miki-cho are Kagawa Medical University and the attached hospital. This university opened in October, 1978 and later established the graduate school and the Department of Nursing. It has more than 1000 students. In October, 1983, the hospital was built. It is expected to become a stronghold for medical care in Shikoku.



【三木町総合運動公園】

柏レイソル

特産いちご「女峰」といちごワイン

.....
strawberry wine

三木町は県下で指折りのいちごの産地

三木町は県下でも指折りの収穫量と品質を誇るいちご「女峰」の産地。新鮮な甘さが好評のいちごは、手間ひまかけたハウスの高設(養液)栽培から生まれ、主に京阪神の食卓に運ばれています。

特産品のいちごからワインが誕生

三木町と北海道の七飯町との姉妹都市縁組を機会に町の特産いちご「女峰」から「いちごのワイン」が誕生しました。女峰いちごのほのかな甘い香りと爽やかな味わいが女性に人気のワインです。



澄み切った空気の中ですがすがしい汗を流そう!

「三木町総合運動公園」は、緑の中の運動公園。総面積20ヘクタールの公園には、野球場やテニスコート、サッカー場、ゲートボール場などの屋外運動施設をはじめ、体育館やプールなどの屋内施設や、カヌーやヨットなどが楽しめる海洋性スポーツ活動施設が整備されています。お年寄りから若者までが集って遊び、スポーツを楽しむ運動公園。休日には応援のかけ声や歓声が響きます。

Miki-cho General Athletic Park

This park with the total area of 50 acres, has outdoor facilities such as a baseball ground, tennis courts, a soccer ground and a gateball ground. Other facilities include an indoor gymnasium and pool. Canoes and yachts can be found for marine sports. It's an athletic park in the mountains for all ages.

▼ ハウスの高設栽培(いちご) ▼



山大寺池

嶽山

summer

【嶽山と山大寺池】

三木の町には北に丸い「白山」があり、南には険しさを感じさせる「嶽山」があります。二つの山は高さもほぼ同じ。まるで向き合うような格好で座っているようです。「嶽山」の高さは204メートル。山頂からの眺めは広く開けており、高松市内や瀬戸内海のなごやかな風景を見ることができ、登山者を楽しませています。岩が多い頂上付近の景観は奇抜で、「嶽山」の名を連想させる風景です。また、近くの山大寺池の水面に映る「嶽山」の美しさも知られています。

【地藏まつり】

「地藏まつり」は、ふる里の夏の風物詩。

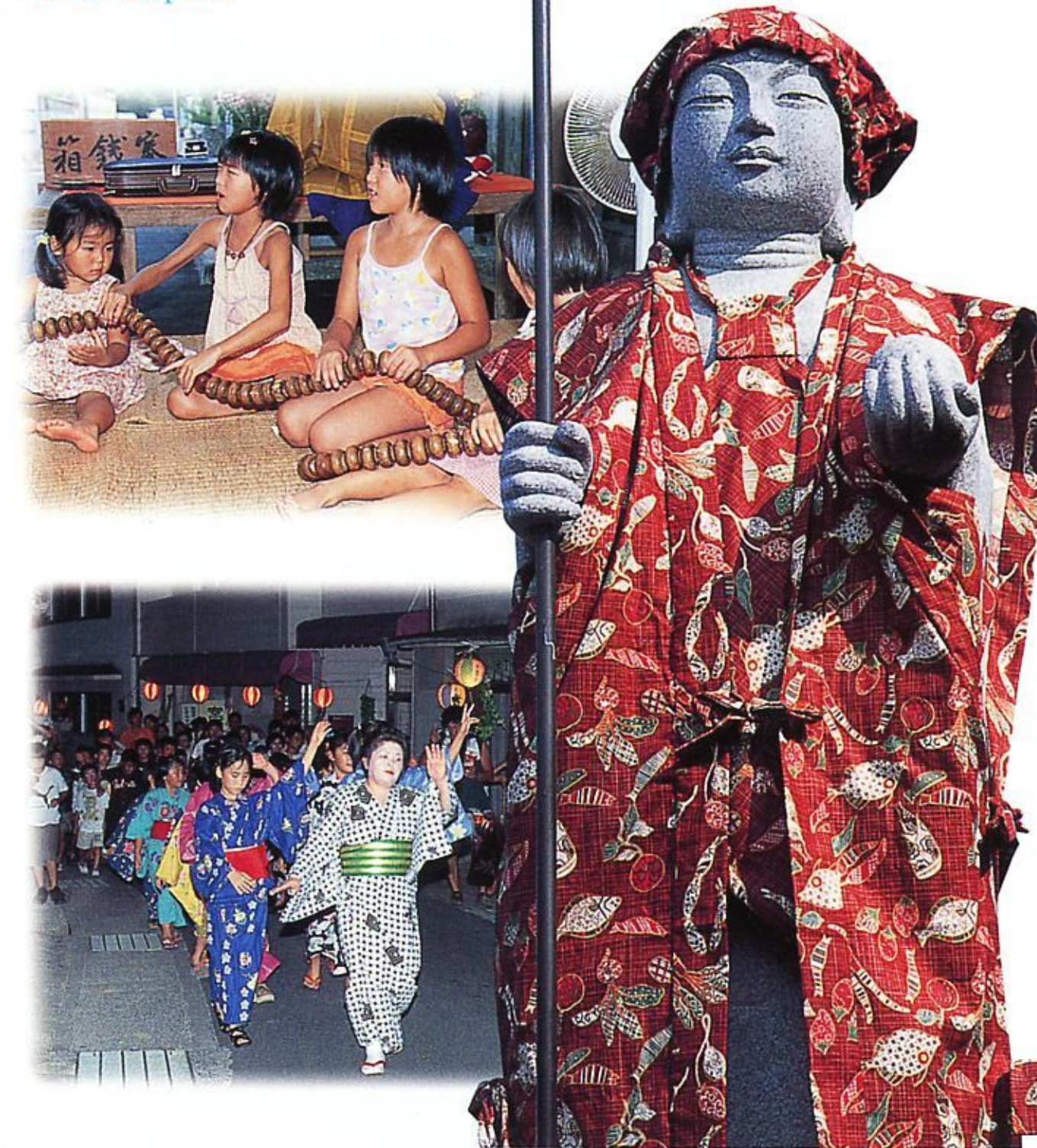
ゴザに座って「ナンマイダ、ナンマイダ」と数珠をくくる「地藏まつり」は、ふる里の懐かしい夏のまつり。陽が落ちた夕暮れどきになると、どこからか子どもたちが顔を覗かせ、神妙に数珠をくりまわす。地藏まつりは町内でもところによって異なりますが、一般的には8月の23日(旧暦の7月23日)に行われています。お地藏さんの当屋と呼ばれるその年の世話人が、いりめ(必要な経費)を集め、お地藏さんにお花やお供えをして、まつりが始まります。今でも「地藏まつり」は、町の人々には欠かせない夏の行事の一つです。

Jizo Festival

This festival is an annual event in summer. In general, it's held on the 23rd of August. The Jizo, which are stone statues, are cleaned by the local people and flowers and offerings are contributed to celebrate the festival. Children recite the sutra with their rosaries in hand.

Mt. Dakeyama and Yamadaiji Pond

In Miki-cho, you see two mountains of the same height; Mt. Shirayama in the north and Mt. Dakeyama in the south. Mt. Dakeyama is 204 meters high and has magnificent view of Takamatsu City and the Seto Inland Sea. Also the beauty of Mt. Dakeyama reflected in Yamadaiji Pond is superb.



サンピアさぬき

Sanpia Sanuki

スポーツ&リゾートライフ

ホテル、レストラン、会議、研究室、結婚式場、宴会場、大浴場、テニスコート、レジャープール、屋内スケート場を備えた「サンピアさぬき」。町内唯一の多目的タウン「サンピアさぬき」は、子供から大人まで、幅広い層の人たちに人気のスポットです。



Sports and resort

"Wel Sunpia Sanuki" is a multi-purpose facility, providing accommodations, restaurants, a convention hall, wedding and banquet rooms, a pool and an indoor skating rink. Very popular for all ages.





男たちの勇ましいかけ声が町を走る。
祭りのハッピーが風に揺れ、
絞りの手ぬぐいに汗が滲むと、
祭りはいよいよクライマックス。
どよめきが辺りの空気を震わせながら
近づいてくる。

氷上八幡神社の大獅子

鰐河神社の大獅子



鰐河神社の大獅子



氷上八幡神社の大獅子



天野神社の大獅子

【三神社の大獅子】

太鼓と鉦に波打つように踊る
大獅子は圧巻。

町内の三神社、四条の鰐河神社、天野神社、氷上八幡神社の大獅子の舞。なかでも鰐河神社の大獅子の歴史は古く、神社の秋祭りには大獅子が乱舞し、奴の行列が進みます。氷上八幡神社の大獅子は高さ1.7メートル、幅2.6メートル、重さ200キロの日本一のジャンボ獅子。獅子頭は20人の大人が持ち上げ、長さ28メートルの胴体には50人の男たちが入ります。

Big lions of three shrines

The lion dancing of three shrines are famous in Miki-cho; the three shrines are Wanikawa in Shijyo, Amano and Hikamihachiman. In particular, the one in Wanikawa has the oldest history and dances wildly in the autumn festival. The lion of Hikamihachiman Shrine is the biggest in Japan, 1.7 meters in height, 2.6 meters in width and 200 kilograms in weight. Twenty adults hold the lion head and 50 adults for the 28 meter long body.



天野神社の大獅子



ダイナミックに獅子が舞う。
実りの秋は、大地の恵みに
感謝する祭りの季節。



【鰐河神社】

歴史を誇る由緒ある社。

古事記（山雅の神話）に、この地に豊玉姫は八丈の鰐に乗って新川を遡り来たりて永住すると記されています。鰐河神社は平安時代には朝廷の延喜式内社に列せられ、鎌倉時代には元寇の変の戦勝祈願の社になった由緒ある神社です。秋祭りには大獅子の舞と奴行列で賑わい、近郷から大勢の人々が見物に訪れます。

Wanikawa Shrine

In the "Kojiki", the ancient myths and history book, it says that Princess Toyotama went up Shinkawa River on the back of a crocodile and made a permanent home here. This shrine is very respected historically. In autumn, you can enjoy lion dancing and Yakko parade.

【竜現社古墳】

「竜現社古墳」は、水神を祀った祠。

二ツ池の堤防の西側に水神を祀った祠があります。これが町内でも指折りの大きさを誇る「竜現社古墳」です。古墳は大型の横穴式石室が露出しており、昔、二ツ池の堤防を築くためにこの古墳の盛り土を取ったという言い伝えがあります。祠は現在大きな石を組み合わせて造った石室の上に祀られています。

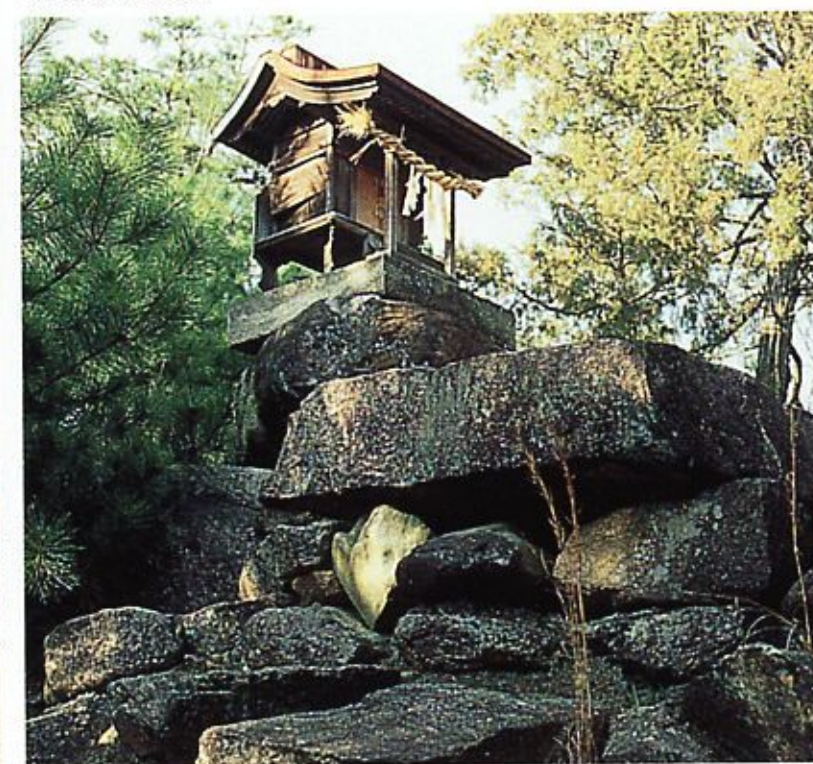
Ryugensha Tumulus

A small shrine sacred to an ancient guardian god for water stands on the west bank of Futatsu-ike pond. Tradition says that people used this mound to make the bank of the pond. Today, this tomb is enshrined on top of the stone room.

鰐河神社



竜現社古墳



新川の鉄橋を渡る（琴電）電車



ウォーキングセンター たこあげ大会



サンピアさぬき 屋内スケート場



広びろリンクで ゆったり滑ろう！

毎年10月下旬になると待望の屋内スケートリンクがオープン。60m×30mの広びろリンクは4月中旬まで大人や子供で賑わいます。オープン中は香川県スケート連盟フィギア部指導のスケート教室も開催されています。

木枯らしと競争の 野鳥のさえずり。

この町は野鳥の多いところ。

冬枯れの野原に出て、日だまりに佇むと、
待ちかねたような小鳥のさえずりが遠く、近くに聞こえる。



【白山】

「白山」は三木町のシンボル。

天下の名峰富士山に姿形が似ている「白山」は、讃岐富士と呼ばれる西の飯野山に対して、東讃富士と呼ばれています。柔らかな線がおむすび型を描く「白山」は、眺める人々を心穏やかにするような優しい山で、高さは203メートル。四季の移り変わりに見せる山裾の風景は美しく、一帯には数多くの史跡があります。山の頂きにある大岩には深い穴があり、硬貨を入れるとしばらくの間、音が聞こえると言われています。この穴は曲がりくねって志度の浦や嶽山に抜けているとも語りつがれています。また山頂には龍王神社が、山裾には白山神社があります。その昔、雨乞いの山として農民から崇拝されていた白山は、今でも町のシンボルとして多くの人々に親しまれています。

Mt. Shirayama

Mt. Shirayama is a symbol of Miki-cho. It's called East Sanuki Fuji because of the resemblance to Mt. Fuji. This gradually sloped mountain is 203 meters high. Many historic sites can be found at the foot of the mountain. The change of the four seasons is just enchanting. There is Ryuoh Shrine on top and Shirayama Shrine at the foot of the mountain. Mt. Shirayama was worshipped by farmers to play for rain in the olden days.



白山雪景色



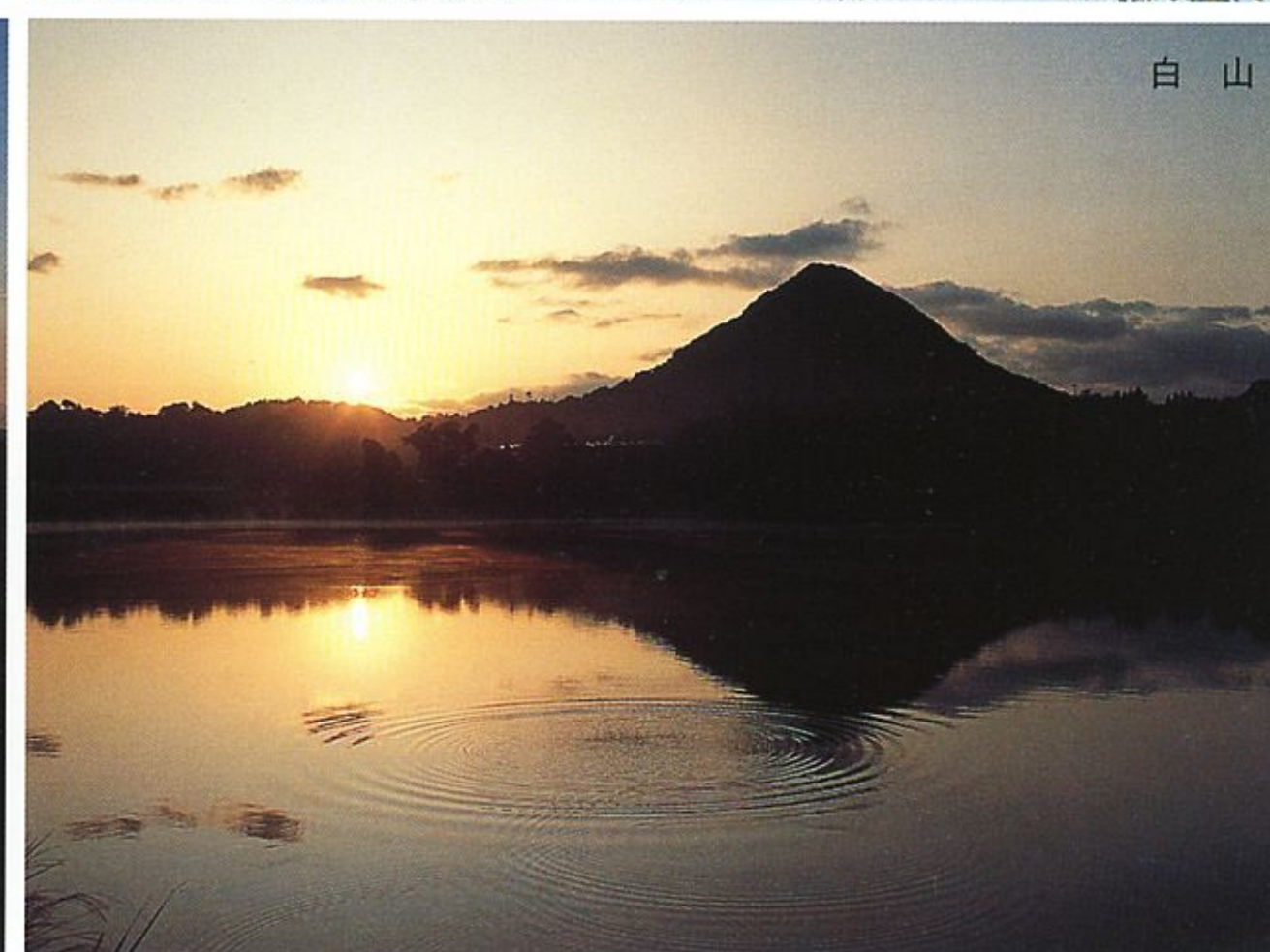
嶽山雪景色



高仙山



白山





三木町

夢とロマンと文化に満ちた活力あふれる田園のまち

Vibrant countryside town full of dreams, romance and culture

町 制	昭和29年10月1日
面 積	75.78平方km 東西5.8km 南北18.4km
経緯度	東経134度8分 北緯34度15分
人 口	28,947人（平成13年10月1日現在） （男13,911人・女15,036人）
世帯数	10,116世帯（平成13年10月1日現在）
人口密度	382.0人/平方km （平成13年10月1日現在）
就業人口	14,535人（平成12年国勢調査）
農 家	2,199戸（2000年世界農林業センサス）
商店数	312（平成11年商業統計調査）
商品販売額	25,010百万円（平成11年商業統計調査）
工業事業所数	75（平成12年工業統計調査） （従業員4人以上の事業所）
製造品出荷額	15,876百万円（平成12年工業統計調査） （従業員4人以上の事業所）
一般会計決算額	歳入 945,053万円（平成12年度） 歳出 876,485万円（平成12年度）



健康生きがい中核施設

健康生きがい中核施設

健康づくり、生きがいづくり、ふれあいづくり。

高松圏域「健康生きがい中核施設」は、高松圏域（高松市、三木町、牟礼町、庵治町、塩江町、香川町、香南町、直島町、綾上町、綾南町、国分寺町）を中心とする広域的、中核的な施設として、健康づくり、生きがいづくり、ふれあいづくりを支援し、促進するための総合的な施設です。

旧木田郡役所

〔現池戸公民館〕三木町指定文化財

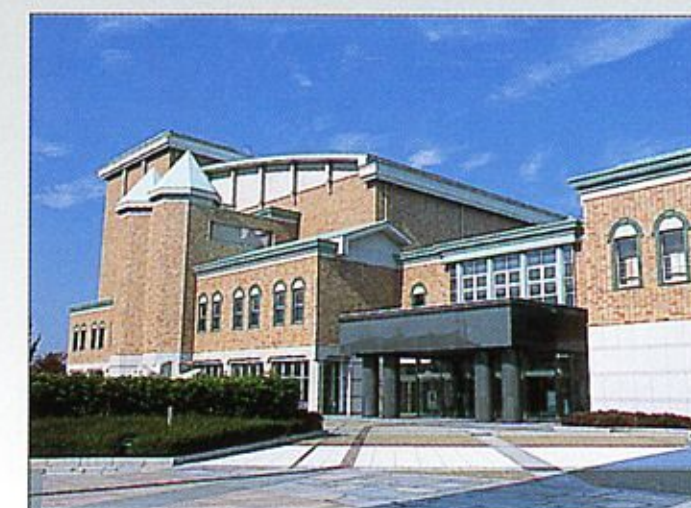
明治32年の郡制改正により三木郡と山田郡が統合し木田郡が生まれ、大正8年8月31日木田郡役所新庁舎として当建物が建築された。郡制の廃止後は、昭和5年香川県蚕業試験場同32年香川農業試験場三木分場と県の機関を経て同58年10月7日三木町の新たな社会教育施設として「池戸公民館」と称し開館されました。建物はドームを持つ洋風建築で明治から大正にかけての公共施設などによくその工法が採られたが現在では次第にその姿が消えつつあります。



三木町文化交流プラザ

21世紀への文化の架け橋

うす茶色の壁にパステルカラーの青緑。ヨーロッパの宮殿を思わせるお洒落な建物が、「三木町文化交流プラザ」です。ここは町が“21世紀への文化の架け橋”をテーマに建てた文化の宮殿。建物の中は800席の多目的ホールを始め、200席のハイビジョン映像シアター、図書やビデオなどのメタ・ライブラリーが備えられており、誰でも気軽に利用できる触れ合いと交流の場です。



miki-cho
kagawaken kitagun miki-cho



【観光のお問い合わせ】

〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上310番地

三木町観光協会事務局/ 三木町役場産業振興課

TEL: (087) 891-3308 FAX: (087) 898-1994

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~mikitown/>



三木町の木・クロガネモチ



三木町の花・シャクヤク